

芝東中だより

笑顔と規律と絆のある文武両道の学校

中芝東PRIDE

川口市立芝東中学校

〒333-0867 川口市芝東町3-1

TEL265-3317(職員室)

TEL265-3492(相談室直通)

<http://www.kawaguchi.saitama.jp/shibahigashi.jp/>

NO.7 発行日 令和3年11月1日

天災は忘れた頃にやってくる

校長 柳田 朗

暦のうえでは立冬となり、めっきり日が暮れるのが早くなり、日に日に秋が深まる季節となりました。今、全国的に新型コロナウイルス感染症感染者の大幅な減少により、埼玉県においても、9月30日をもって緊急事態宣言が解除されましたが、依然として予断を許さない状況下にあることは間違いありません。引き続き、学校においては感染予防対策を取り教育活動を続けてまいりたいと思います。学校は、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言で、2学期に入ってから9月の分散登校をはじめ、行事予定の大幅な変更等を余儀なくされ、今後の見通しがたてにくくなっていますが、11月下旬には3年生の京都・奈良方面の修学旅行を予定しており、なんとか実施できることを願うばかりです。

さて、10月7日(木)午後10時40分頃、川口市は、震度5強の地震にみまわれました。皆様方のご家族・家は大丈夫でしたでしょうか。本校はさいわいにも、大きな被害はありませんでした。今回の震度5強は、10年前3月11日に起きた東日本大震災以来だそうです。人が亡くなるといったことはなかったようですが、重軽傷者がでたり、ブロック塀倒壊、水道管破裂といった被害があり、電車が止まり帰宅困難者がでたというニュースがありました。災害はあつてほしくないですが、地震のことでいえば、首都直下型地震がいつ起きるかもしれないとも言われています。日頃より天気予報・ニュースには耳を傾けて災害の備えをしておくことが大切だと思いました。

本校では、10月15日(金)5校時に竜巻と地震を想定した避難訓練を実施し、避難経路の再確認と常に防災意識を高くもって生活することの大切さを教職員と生徒で共有しました。訓練といえども、校庭に避難してくる生徒の姿は真剣そのもので、先生方の指示に従いながらよくできていました。芝東中学校は、地域の避難所となっており、避難所運営に際しては、地域の方々といっしょになって本校教職員・生徒で動いていくということも確認しました。東日本大震災当時の避難所においては、物資の運搬・給水や炊き出しの手伝い・避難所の掃除等、中学生が大きな力になったというニュースがありました。避難所開設の際は、本校生徒にも期待するところでもあります。さらに8月に、町会の方と市職員の方と学校とで避難所開設・運営(震災・水害・台風等)にかかわる会議を行ったところではありますが、再度、運営マニュアル等の確認をして、いざという時の備えをしてみたいと思います。

年月が経つとどうしても、大地震に対する危機感が風化してしまいます。「天災は忘れた頃にやってくる」：物理学者寺田寅彦氏の警句をもう一度思い起こして、私達は、非常災害に対する準備を怠りなく行っていきたいと考えさせられた今回の震度5強の地震でした。また、災害に限らず、学校・家庭・地域が連携・協力して生徒の安全管理をおこなっていくことは、大切なことであると認識しております。今後も、地域の芝東中学校として、「継承・発展・安全」に努めてまいりますので、よろしく願いいたします。